

令和8年度 氷丘南小学校 いじめ防止対策プログラム 全体計画

- 基本理念 ①学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにします。
 ②いじめの影響や問題について、児童生徒が理解を深められるようにします。
 ③市、学校、地域、家庭との連携のもと、いじめの問題を克服することを目指します。

- 基本目標 学校教育目標に掲げる「主体的に学び思いやりの心をもち判断できる自立した児童の育成」のために、いじめ等の命に関わる問題の未然防止に資する取組を強力に支援するとともに、児童生徒の居場所づくり・絆づくりを進め、自己有用感を高める教育活動への支援を行います。

- 行動目標 ①職員会議等において共通理解を図るとともに、「スクールサポートチーム」として組織的な推進体制を充実させる。また、研修を通して教職員等の資質向上に努める。
 ②いじめ問題等の未然防止に向けた取組を推進する。
 ③いじめ問題等の早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。

□基本構想

職員研修・職員会議等・家庭地域啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解の徹底 ② PDCA サイクルにより、7月・12月・3月に学期毎のいじめ対策の検証 ③ いじめの定義の共通理解といじめの積極的認知の推進のための研修の継続的な実施 ④ 教員の資質と指導力向上のための研修の継続的な実施 ⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールアシスタントとの連携・協働 ⑥ 「ケース会議」の積極的開催による教職員間の情報共有 ⑦ 市・県関係機関との情報共有と連携 ⑧ 「ネットいじめ」等インターネット空間の対策として、関係機関と連携した児童・保護者向けの情報モラル教室の実施 ⑨ 学校運営協議会委員・民生児童委員・少年補導委員・交通安全指導員との連絡会による連携強化 ⑩ いじめ防止啓発チラシの活用と学校ホームページによる情報発信
未然防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた協同的探究学習を核とした授業改善 ② 人権教育・道徳教育の充実 ③ 授業における学習規律の確立 ④ 児童が安全に安心して学校生活を送ることができ、多様な考え方が認めあえる「心の居場所」のある学級・学年・学校づくり ⑤ 教師による児童主体の「絆づくり」ができるような「場」や「機会」を準備した学級・学年運営 ⑥ 児童の実態に合わせた自己有用感を育む特別活動の充実 ⑦ いじめ問題について児童が「主体的」に考え解決しようとする取り組みの推進
早期発見・早期対応に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 「いじめ防止・対応マニュアル」に沿った、チーム学校による組織的な対応 ② 正確かつ積極的ないじめ認知及び、速やかな組織的な対応の実施 ③ 「学校生活に関するアンケート」(アセス)の年2回実施、要支援領域の児童の情報共有と支援策の実施 ④ 「心の相談アンケート」及び「教育相談」「フォームによるアンケート」の年2回実施、結果の集約と教職員間の情報共有 ⑤ 子ども向け相談行動促進リーフレットを活用した相談行動促進(自殺予防教育)の実施 ⑥ 保護者を対象とした教育相談の実施 ⑦ 月末にいじめ実態調査を実施し、学校内外のトラブルや問題点の情報を集約・共有 ⑧ 犯罪行為として取り扱われるべきと認められるいじめ事案に対する、警察への相談・通報及び援助の要請